

公共施設整備検討会議設置(R2)

(設置目的)

新たな公共施設の整備に関し、駅前周辺地区での立地誘導を前提に、道の駅るもい周辺地区とも一体となった賑わいや交流拠点として必要な機能や役割、行政機能の集約化のほか、民間誘導の可能性などについて検討。

(構成員)

留萌商工会議所、留萌商工会議所青年部、一般社団法人留萌青年会議所、社会教育委員、留萌金融協会、公募に応じた市民、留萌市職員、第6次総合計画策定市民会議委員 計20名

令和3年度協議テーマ

第1回目

検討協議の視点

- ・令和3年度検討会議の進め方
- ・次回会議の協議内容

第2回目

「まちなか」と「公共施設」

- ・社会教育施設の利用変容と施設の課題
- ・まちなかの「賑わい再生」につながる「新しい公共施設」に必要な役割

第3回目

公共施設の役割・機能

- ・これからの「公共施設」が担う役割、市民が望む使われ方
- ・「社会教育機能のほか」に新たに付加する(すべき)機能(具体的に)

第4回目

立地場所

- ・まちなかでの立地を考えるにあたり、その中で(廃線後の)駅周辺地区の利活用の可能性や、優位性を比較検証

第5回目

運営、活動、財源

- ・「新しい公共施設(社会教育機能含む)」の運営方法
- ・新しい市民活動のイメージや官民の役割分担、周囲との連携方策等

第6回目～

まとめ

- ・これまでの協議経過のとりまとめ
- ・市への報告内容案の検討

公共施設整備検討会議における協議状況

基本的な方向性

普段使いできる
居場所づくり

多目的利用ホール
を有する複合機能

まちなかを訪れる
賑わいづくり

- ・誰もが（学生、高齢者、働く人、子育て世代…）利用でき、自分のやりたいことを叶える場所
- ・施設で気軽に滞在でき、また、行くついでにまちなかを利用し、交通機関の待ち時間に利用できる場所

分類	施設機能についての主な意見
広場 フリースペース	学生や高齢者など、多世代の居場所となるような空間 屋外で屋根のあるイベント空間 バスの待合 子ども達が遊べる空間 オープンスペース
文化ホール	本格的な音響設備 ステージ幅の確保（座席数は500～600席＋立ち見）、スクリーンの配置 興業や文化活動に携わる運営者の人材育成
コンベンション	移動式ステージと多目的に利用可能な空間（催事、結婚式、子どもの発表会、小音楽会など）
商業店舗	子どもの活動を見守る親の休憩機能（カフェ、イートインなど） コンビニ等の収益事業へのテナント誘導（民間誘導）
会議室	多用途でフレキシブルに利用可能な設定 スタジオ機能、オンライン設備（eスポーツ、オンライン指導など） 市庁舎会議室との兼用
その他機能	市役所機能（窓口等一部）の併設 街なかでの一時避難場所機能（屋上等） 図書機能（分館）、ワークスペース バスターミナル機能 広い駐車スペース